

# 基本操作説明

## 目 次

1. 概要	1
2. 動作環境	1
3. 画面説明	2
3.1 概要	2
3.2 メニューバー	2
3.3 ツールバー	4
3.4 座標表示	4
4. 操作説明	5
4.1 起動	5
4.2 3D操作	6
4.3 地図表示	6
4.4 情報表示	7
4.5 計測・静止画	8
4.5.1 計測	8
4.5.2 静止画保存	11
4.6 自動飛行	14
4.7 オプション	30

## 1. 概要

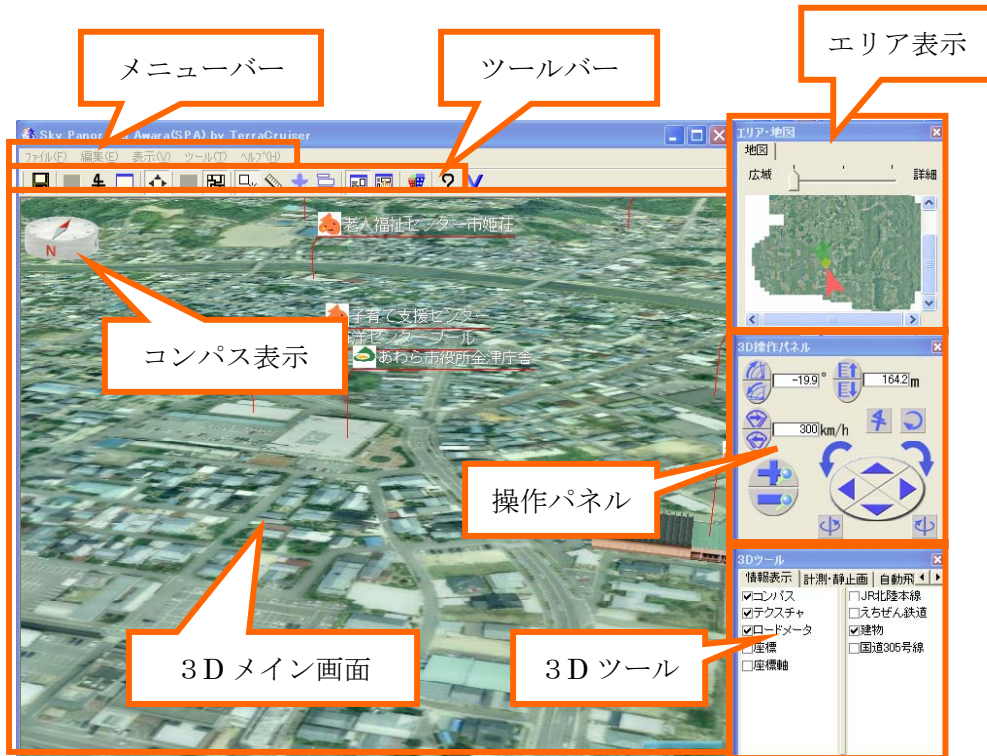
本書は、住民参加型3次元景観情報システムにおける、インターネットに接続されたクライアント端末（以下、Webクライアントと言う）にて、3次元景観情報システムを動作するために必要な操作の説明を行うものです。（周辺情報関連の操作に関しては、「周辺情報操作説明」を参照願います。）

## 2. 動作環境

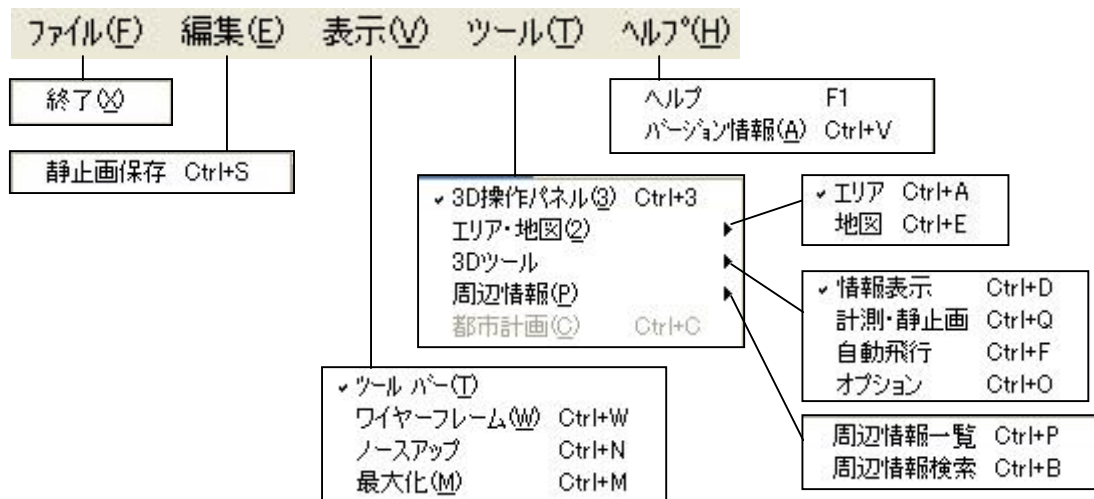
本システムご利用にあたっては、「利用上の注意」をご確認願います。

### 3. 画面説明

#### 3.1 概要



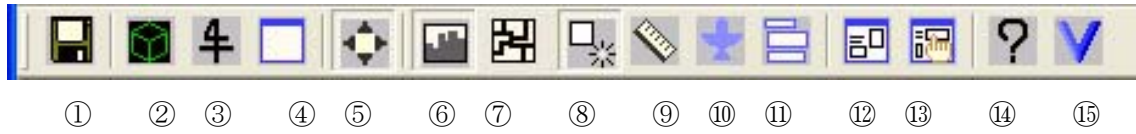
#### 3.2 メニューバー



各メニューバーの動作内容を以下の表に示します。

No.	名称	動作内容
1	ファイル	
1-1	終了	システムを終了します。
2	編集	
2-1	静止画保存	現在表示されている3D画面を画像ファイルとして保存します。
3	表示	
3-1	ツールバー	ツールバーの表示を切り替えます。
3-2	ワイヤーフレーム	3Dメイン画面にてポリゴン⇔ワイヤーフレームの切替を行う。
3-3	ノースアップ	3Dメイン画面の表示方向を北を上に出します。
3-4	最大化	3Dメイン画面を最大化します。
4	ツール	
4-1	3D操作パネル	3D操作パネル画面を表示します。
4-2	エリア・地図	
4-2-1	エリア	エリア画面を表示します。(未使用)
4-2-2	地図	地図画面を表示します。
4-3	3Dツール	
4-3-1	情報表示	3Dツール画面にて情報表示タブを表示します。
4-3-2	計測・静止画	3Dツール画面にて計測・静止画タブを表示します
4-3-3	自動飛行	3Dツール画面にて自動飛行タブを表示します
4-3-4	オプション	3Dツール画面にてオプションタブを表示します
4-4	周辺情報	
4-4-1	周辺情報一覧	周辺情報画面を表示し、周辺情報一覧タブをアクティブにします。
4-4-2	周辺情報検索	周辺情報画面を表示し、周辺情報検索タブをアクティブにします。
5	都市計画	住民参加型まちづくり実施時アクティブ。
6	ヘルプ	
6-1	ヘルプ	ヘルプを表示します。
6-2	バージョン情報	バージョン情報ダイアログを表示します。

### 3.3 ツールバー



- ① 静止画保存
- ② ワイヤフレーム
- ③ ノースアップ
- ④ 最大化
- ⑤ 3D 操作パネル
- ⑥ エリア表示画面 (未使用)
- ⑦ 地図表示画面
- ⑧ 情報表示
- ⑨ 計測・静止画
- ⑩ 自動飛行
- ⑪ オプション
- ⑫ 周辺情報一覧
- ⑬ 周辺情報検索
- ⑭ ヘルプ
- ⑮ バージョン情報

### 3.4 座標表示

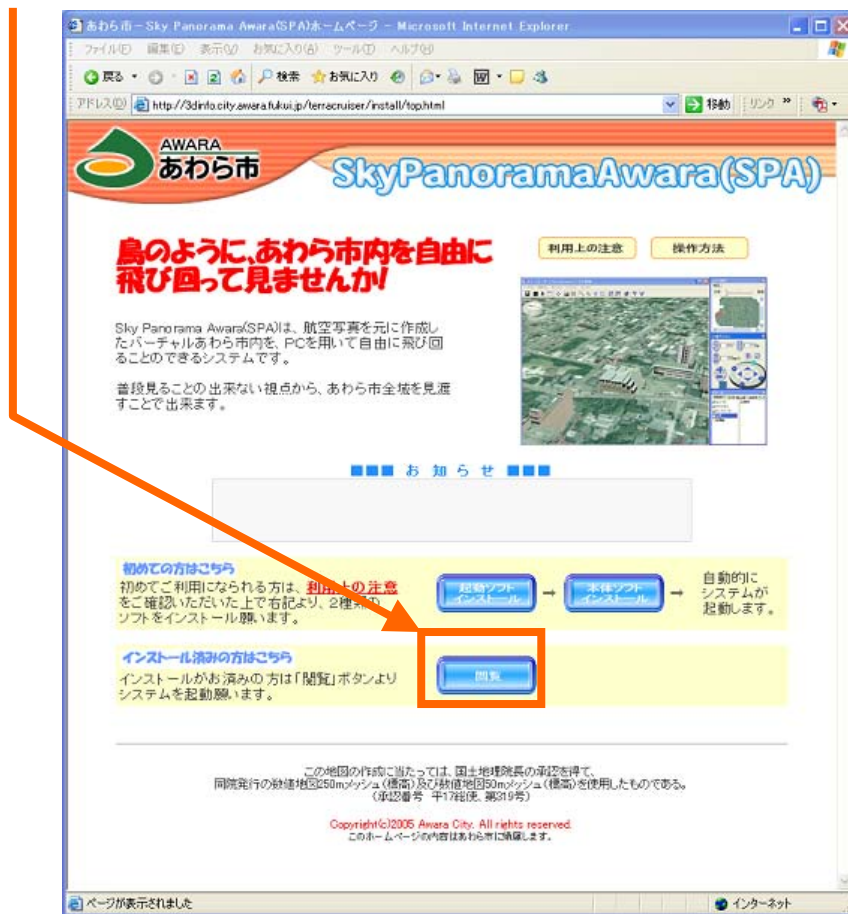
A screenshot of a coordinate display window with a dark background and white text. The text is organized into two sections. The top section is labeled '視点位置の座標' (Viewpoint Position Coordinates) and contains: 視点 N 86.12.25.53", E186.18.51.14", 高度 163.79m. The bottom section is labeled '注視点の座標 (3D画面の中心)' (Target Point Coordinates (Center of 3D Screen)) and contains: 中心 N 86.12.33.63", E186.18.49.22", 高度 109.38m, 仰角=19.9°方位=17.8°.

## 4. 操作説明

### 4.1 起動

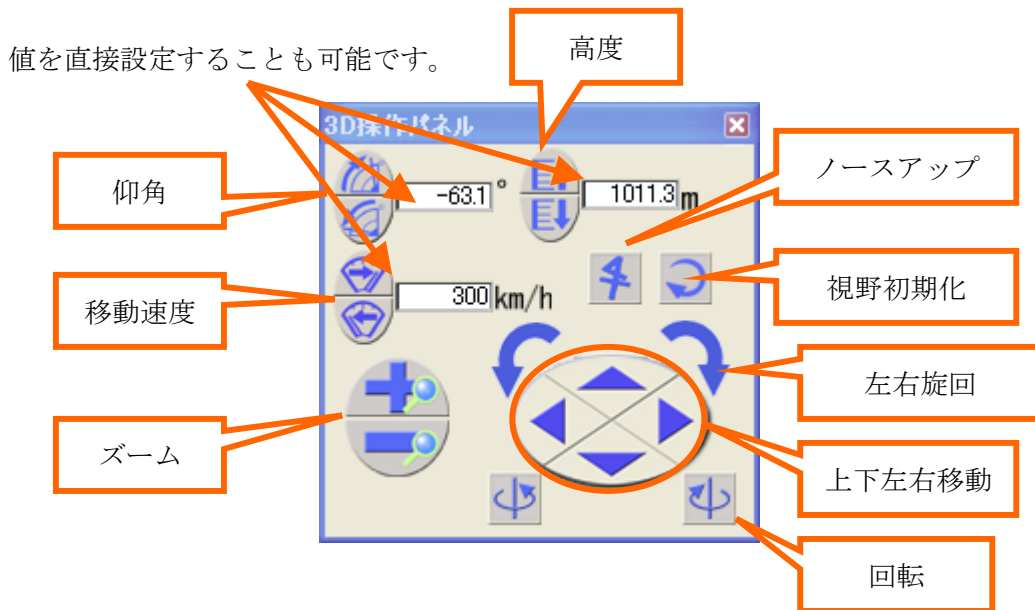
注) システム管理者 (Administrator) 権限以外のアカウントでご利用になる場合は、「インストール操作説明」の最後に記述の設定を実施願います。

初期画面にて「閲覧」をクリック願います。



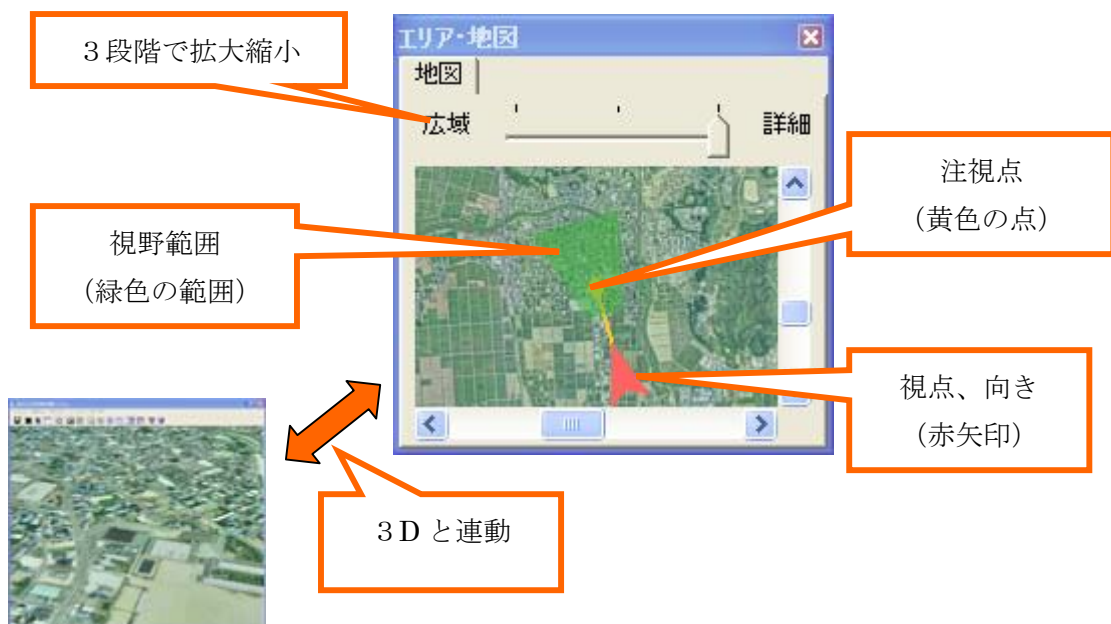
## 4.2 3D 操作

3D 操作パネルを用いて、360° 自由な視点移動が可能です。  
以下に、3D 操作パネルの説明を記述します。



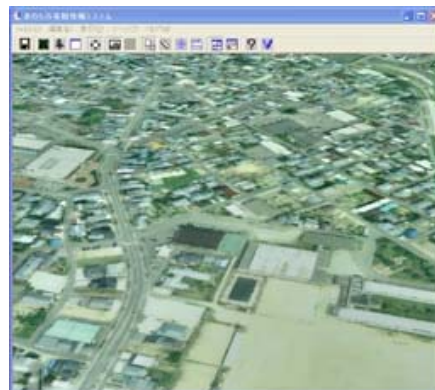
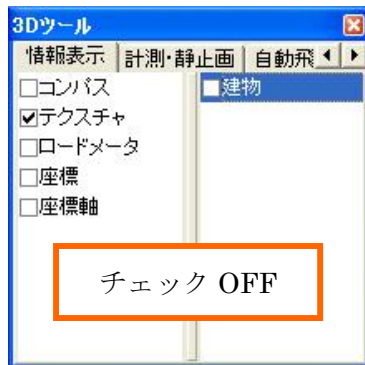
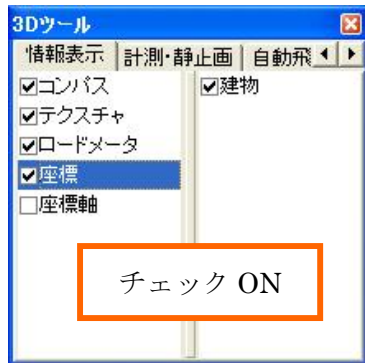
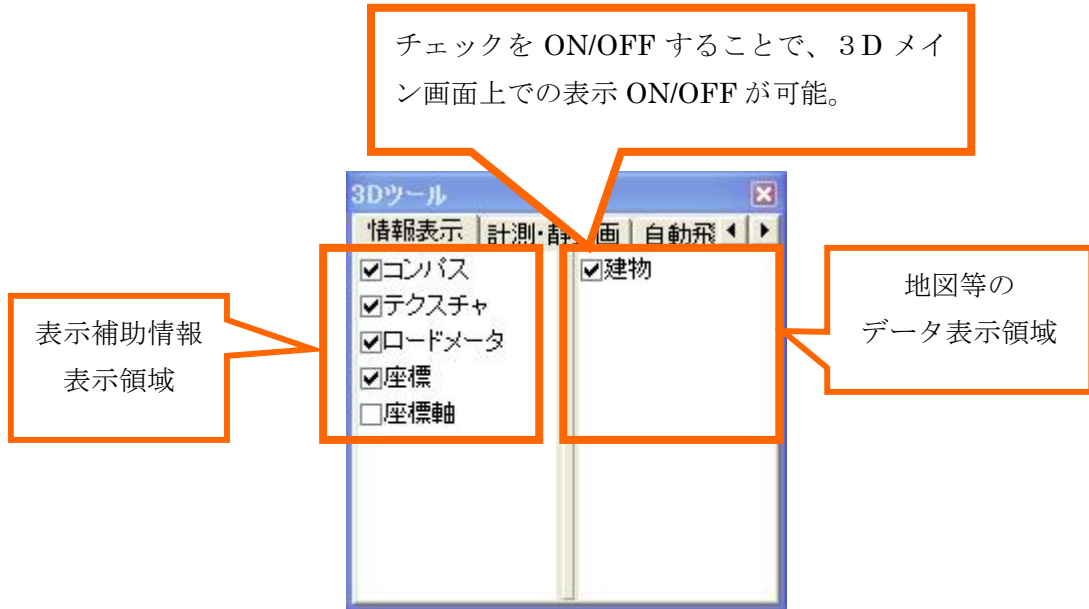
## 4.3 地図表示

2D 地図上に、現在の視点位置、視野範囲、注視点位置を表示します。  
3D メイン画面での視点位置と連動し移動します。



#### 4.4 情報表示

3D メイン画面に表示する地図等の情報の表示 ON/OFF を切り替えることができます。

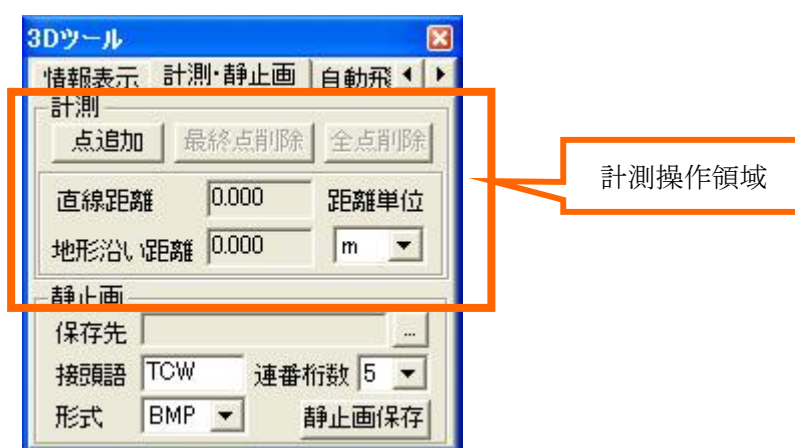


## 4.5 計測・静止画

### 4.5.1 計測

距離を計測します。単位はmとkm。

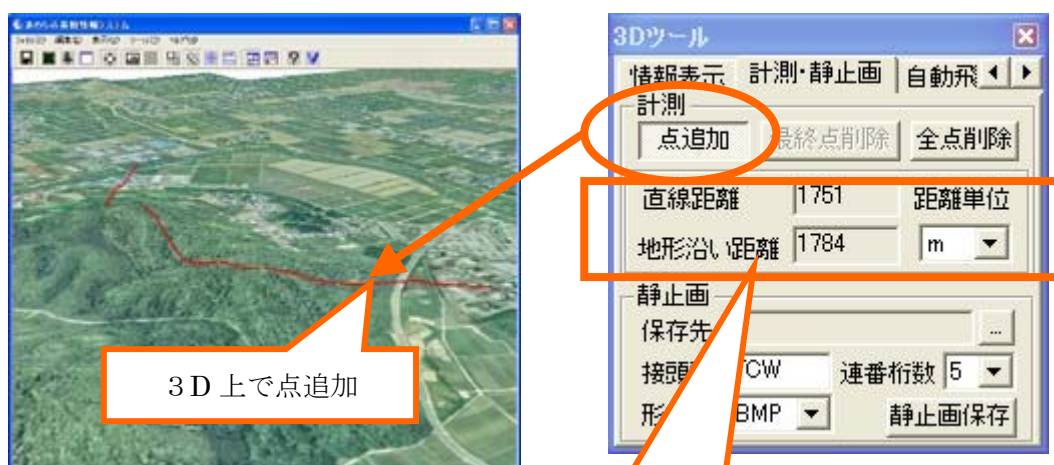
計測には、2点間の直線距離と、地形起伏に沿った距離の2種類の計測が可能です。



#### ①計測点設定

「点追加」をクリックし、3Dメイン画面上に計測したい点をプロットしていきます。(複数点プロットできます)

ダブルクリックにより最終点を指定できます。

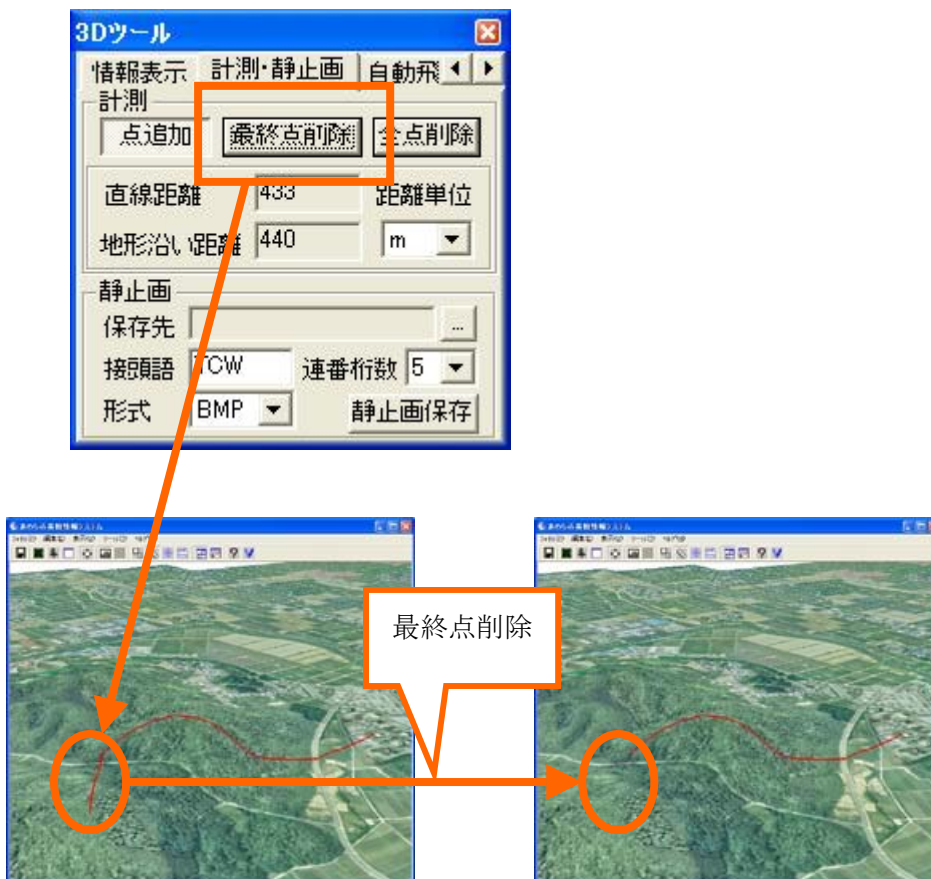


直線距離と、地形起伏に沿った距離の2種類の計測結果。

## ②計測点編集

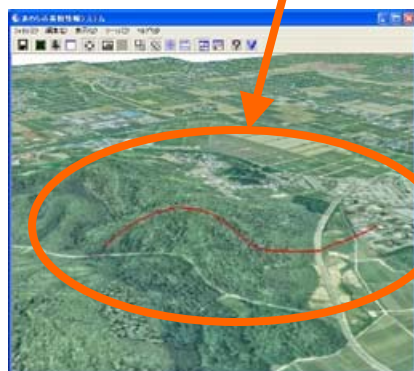
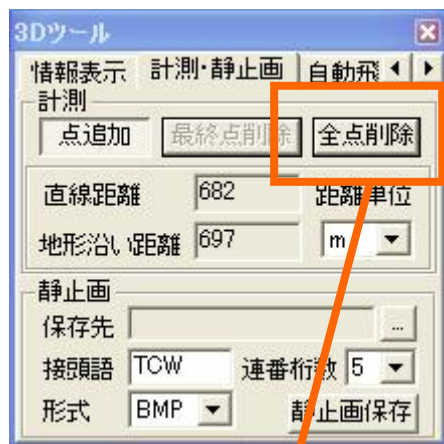
### a) 最終点削除

最終点を指定する前（ダブルクリックする前）であれば、設定した最終点を削除することができます。



b) 全点削除

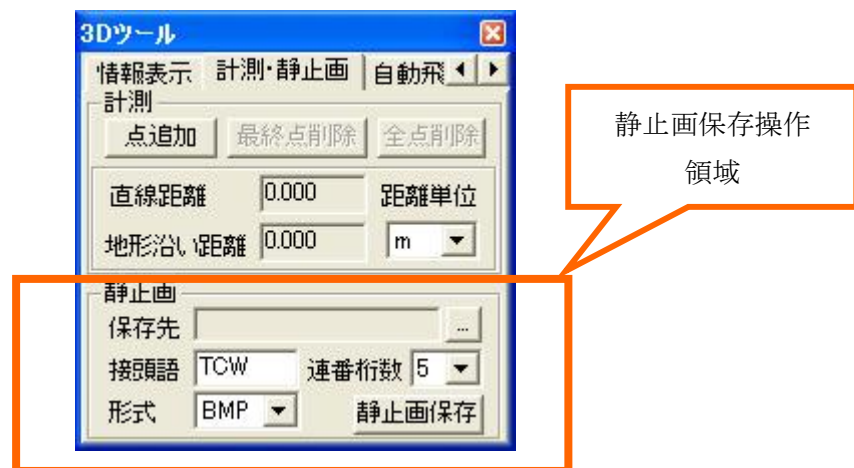
設定した計測点を一括して全点削除します。



#### 4.5.2 静止画保存

報告書等に貼り付けるために、現在表示中の3Dメイン画面の情報を画像ファイルとして外部出力することができます。

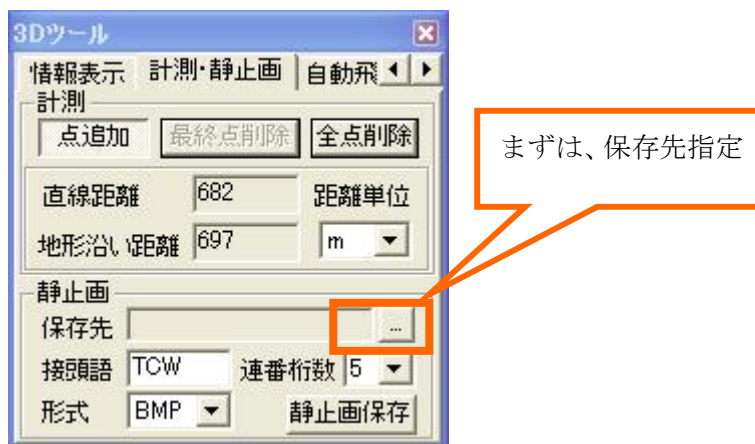
保存できる画像ファイル形式は、BMPまたはJpegです。



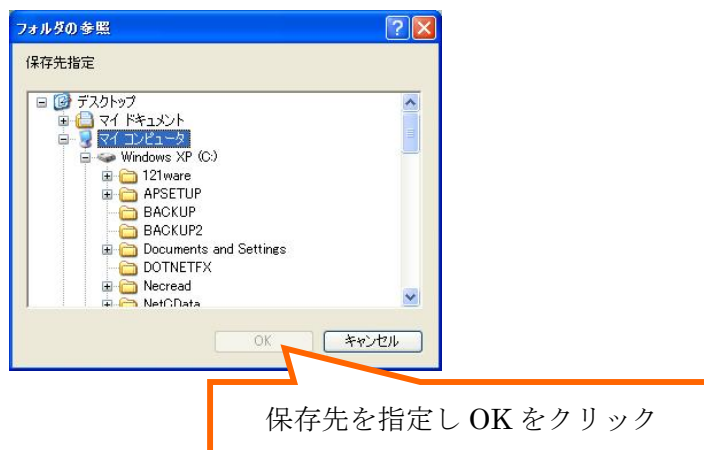
① 3D画面上で、キャプチャしたい視点位置を決める。



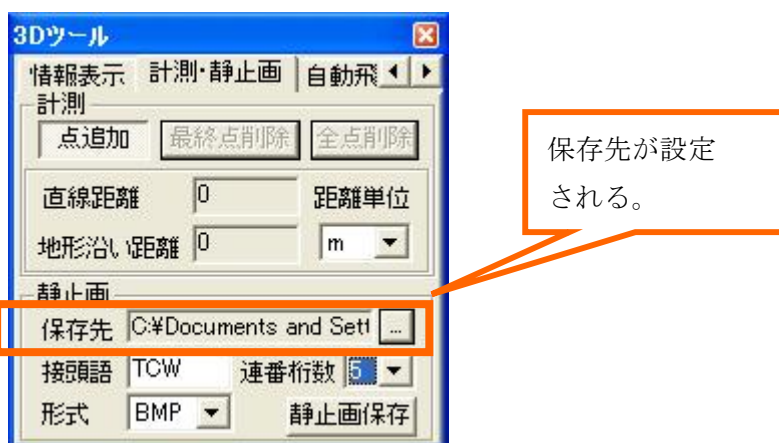
- ② 「計測・静止画」 タブを選択し、画像ファイル保存先を指定する。



- ③ 「計測・静止画」 タブを選択し、画像ファイル保存先を指定する。



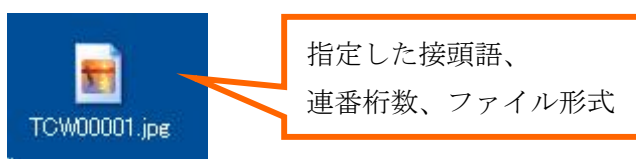
- ④ 「計測・静止画」 タブを選択し、画像ファイル保存先を指定する。



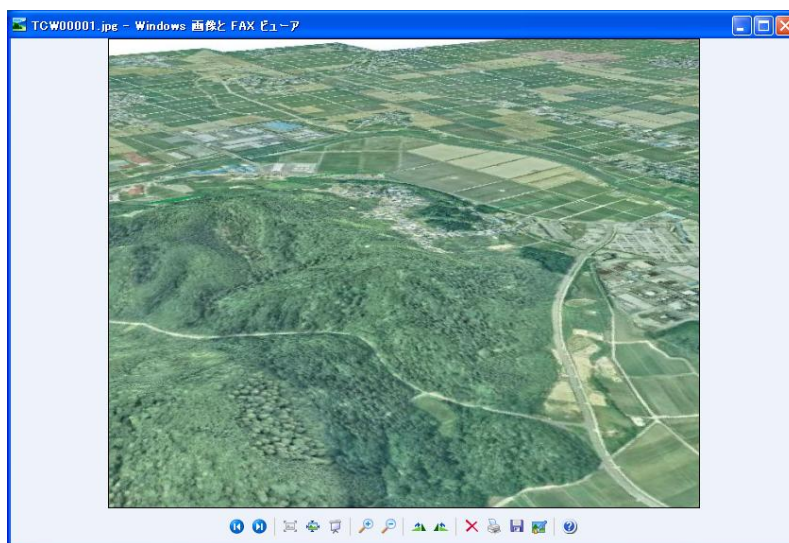
⑤接頭語、連番桁数、画像保存形式（BMP、JPG）を指定し、「静止画保存」をクリック。



⑥指定フォルダにファイルが作成される（以下の例では Windows デスクトップ）。



⑦Windows のプレビュー等でファイルの内容を確認。



⑧上記操作を繰り返すと、そのたびにファイル名の連番が1つずつ Up。

## 4.6 自動飛行

お勧め観光ルートや、最寄り駅から自宅までのルート等を自由に設定し、保存することができます。

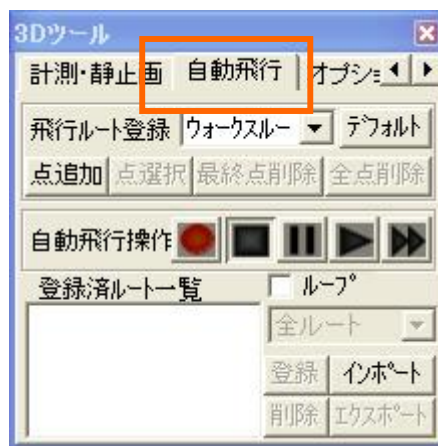
保存したルート情報を再生することで、自動的にルートに沿った視点移動をお楽しみいただくことができます。

また、保存したルート情報は、AVI形式の動画ファイルとして外部出力することができ、お知り合いの中で共有することも可能です。

また、動画ファイルはデータサイズが大きく、ネットワーク経由で他の方に渡すことができないという方には、データサイズの小さいルート情報（経由点の位置情報のみ格納）のエクスポート機能が用意されております。この機能を用いてeメールに添付しお友達に送付してください。

（ルート情報での受け渡しの場合、受け取った側のPCにも本システムがインストールされている必要があります。インストールされていれば、ルート情報インポート機能で対応可能です）

- ①自動飛行タブを選択。

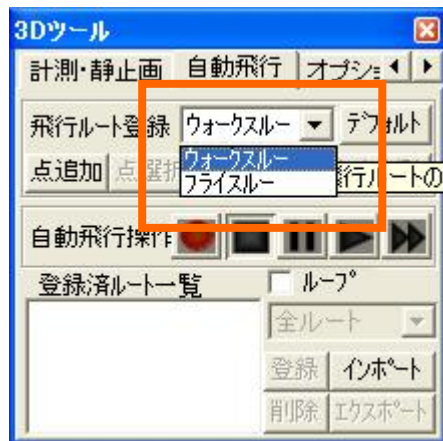


②ルートタイプ（ウォークスルー、フライスルー）を選択。

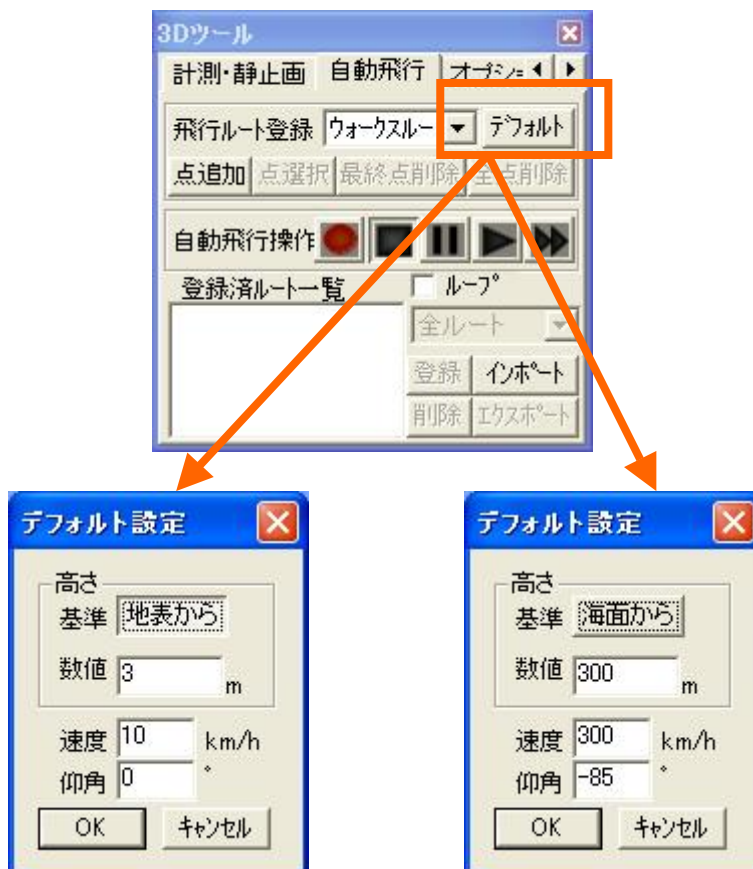
ウォークスルー：地面を歩く時向き

フライスルー：少し高い視点から飛んで見る時向き

（タイプの違いは、曲がる際の視線の動きが異なる）



③高度、速度、仰角のデフォルト値を設定。



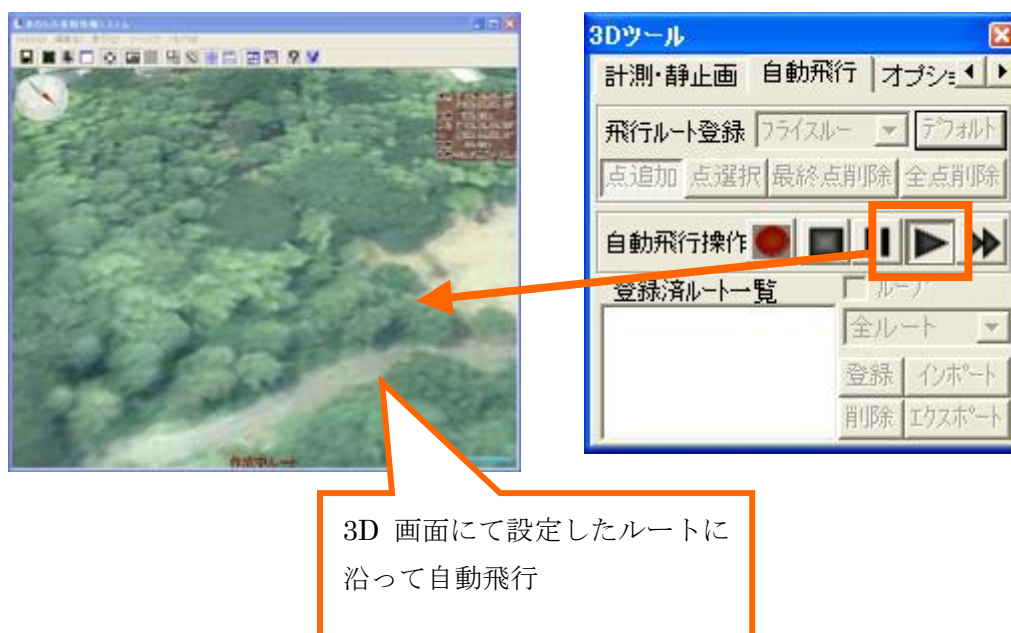
ウォークスルーの場合

フライスルーの場合

④「点追加」をクリックし、3Dメイン画面上にてルートを設定。



⑤再生ボタンを押下し、3D画面上で確認。



⑥停止ボタンを押下し、再生を停止。

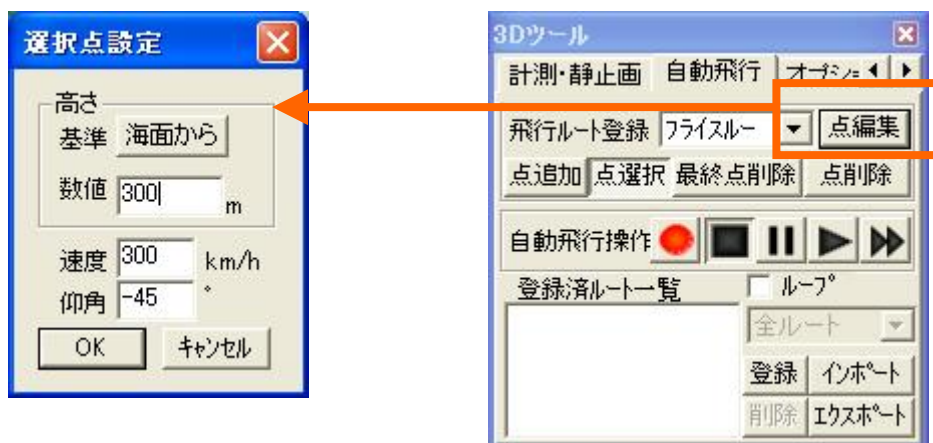


⑦点編集（設定点の高度、仰角を変更したい場合）、まず変更したい点を選択。

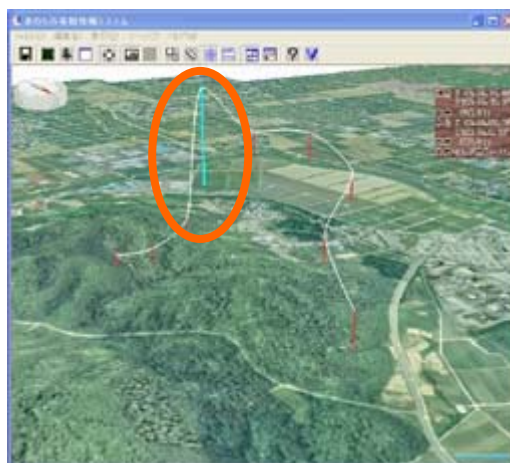
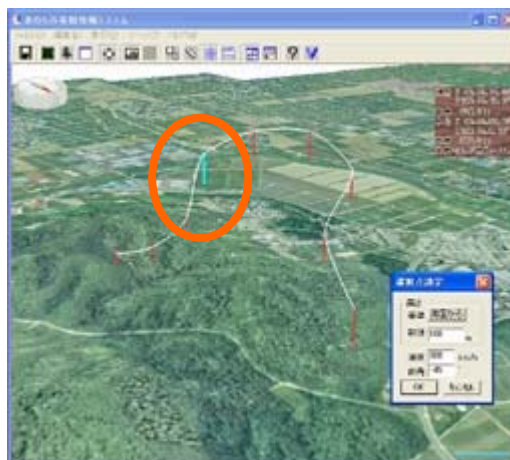


⑧「点編集」をクリックし、選択点設定画面にて値を設定。

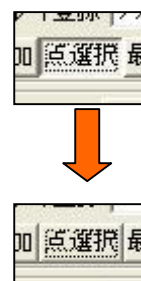
(この例では、高度を 100m→300m に変更)



⑨ 3D メイン画面上にて変更されたことを確認。



⑩ 「点選択」 ボタンを再度クリックし非アクティブにすることで選択状態を解除。



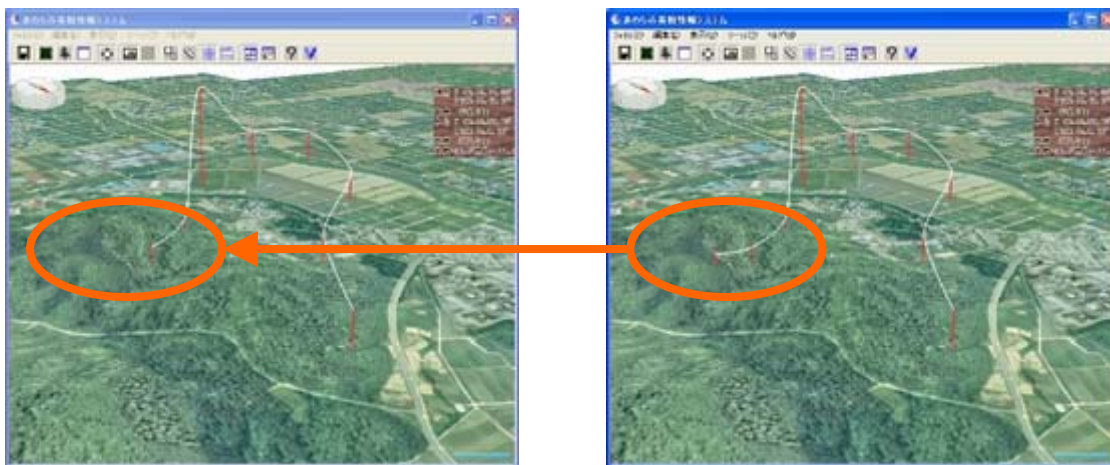
### ①点削除

(本システムでは、一度設定した設定点の水平位置を変更することはできません。  
以下の操作により一旦、設定点を削除後に新たに位置を設定願います。)

a) 「最終点削除」、「全点削除」により設定点を削除。

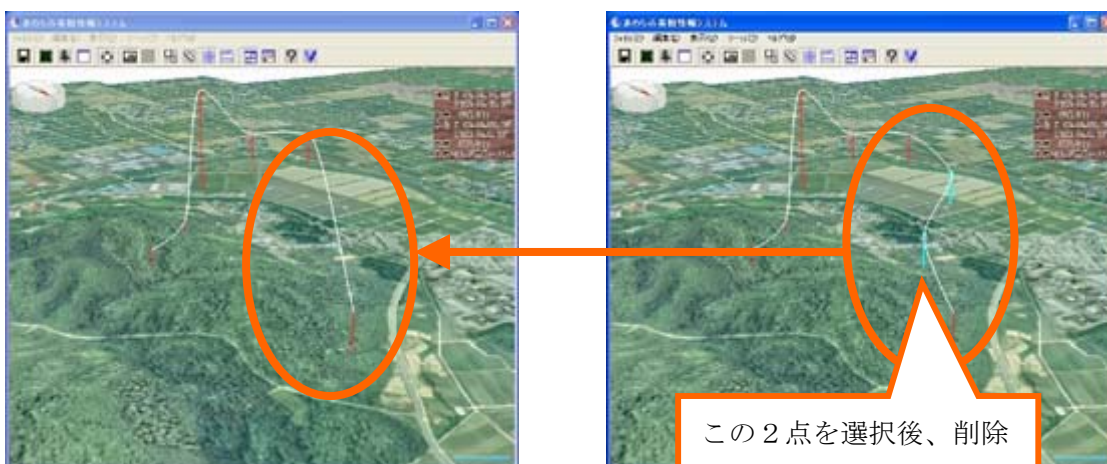


以下の例は「最終点削除」の場合



b) 選択した点の「点削除」により設定点を削除。

(点選択状態では、「全点削除」ボタンが「点削除」ボタンとなります)

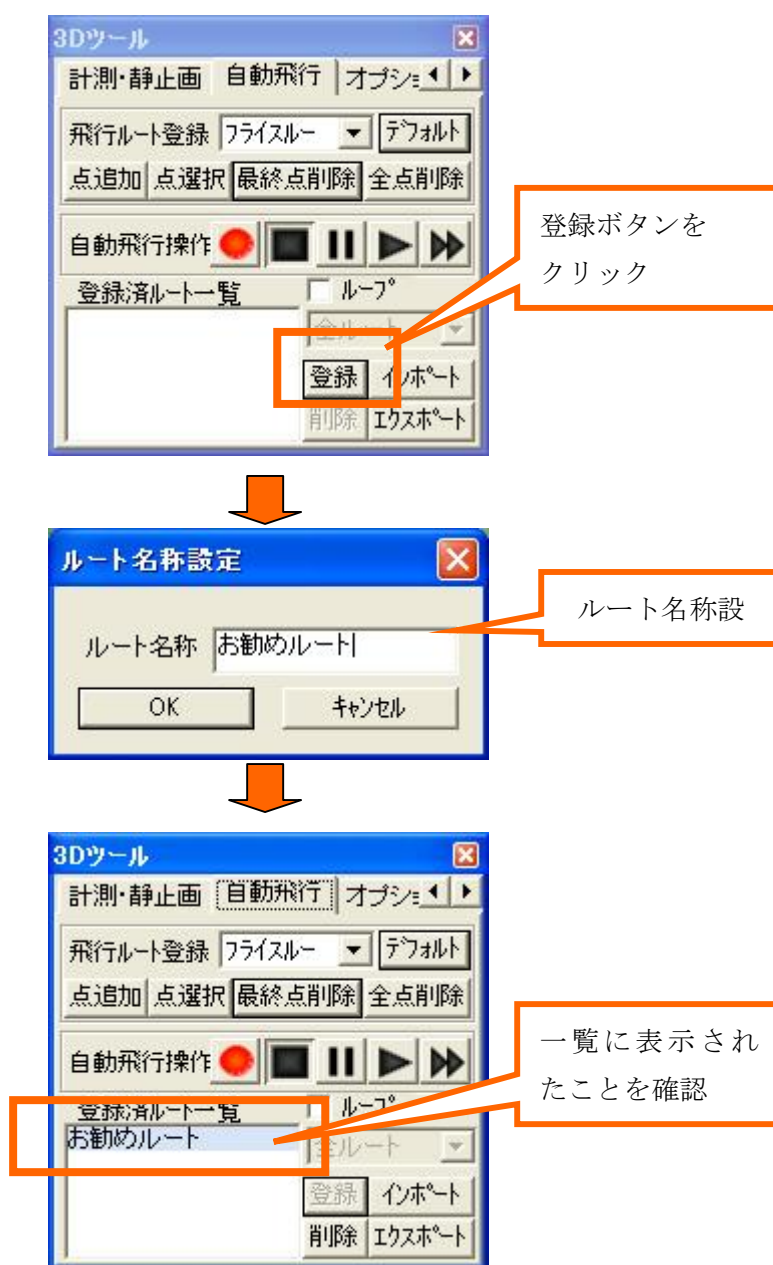


削除後は、削除された両隣の点を直線で結ぶルートとなります。

## ⑫ルート登録

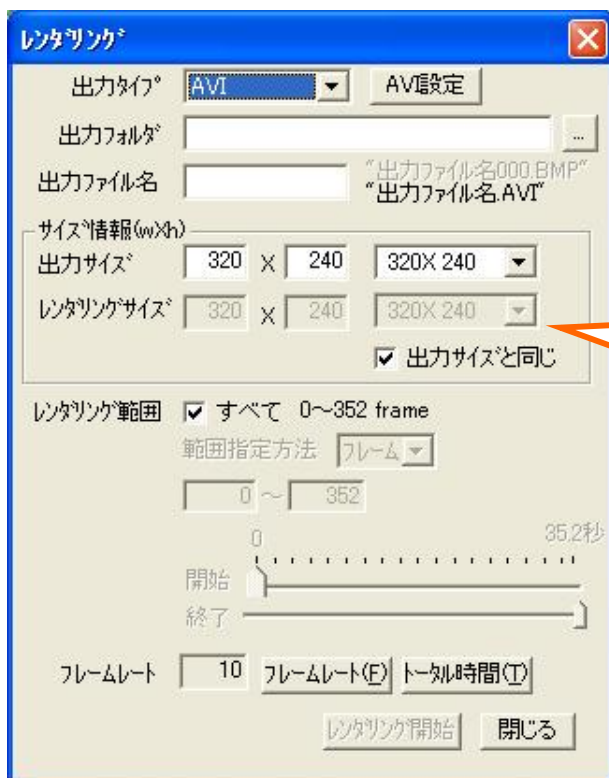
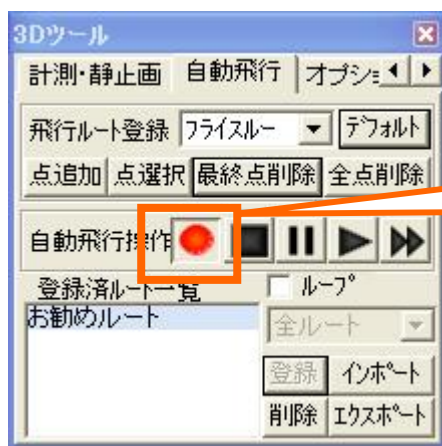
設定したルートを登録することで、何度でもご覧になっていただくことができます。また、後で動画作成や外部出力を行う場合も、登録しておく必要があります。登録するルート情報は、ご自身の PC 内のローカルハードディスクに保存されます。

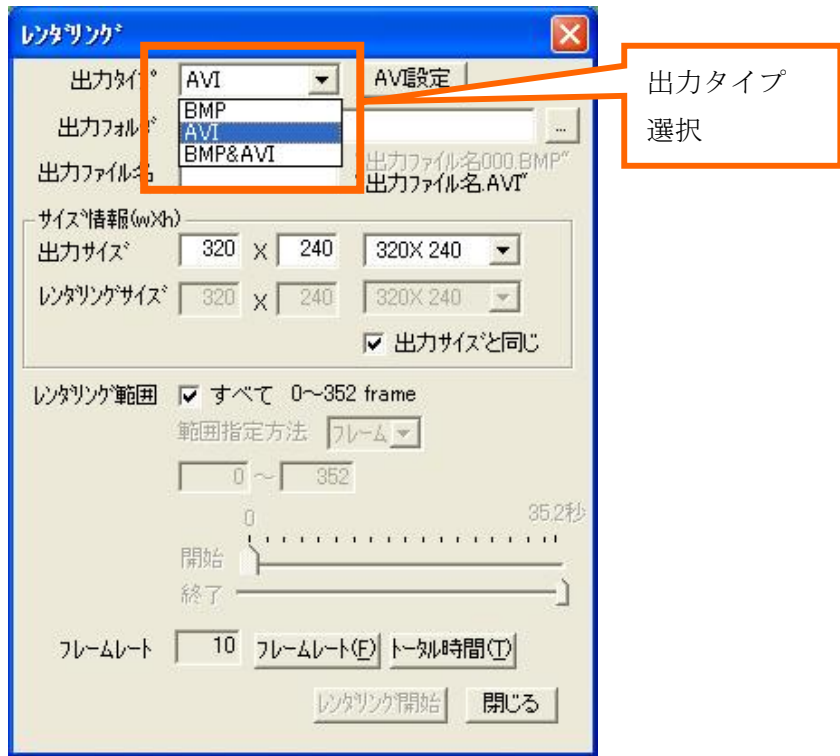
保存先：インストールフォルダ¥user¥Web サーバ名¥terracruiser¥awara¥walk



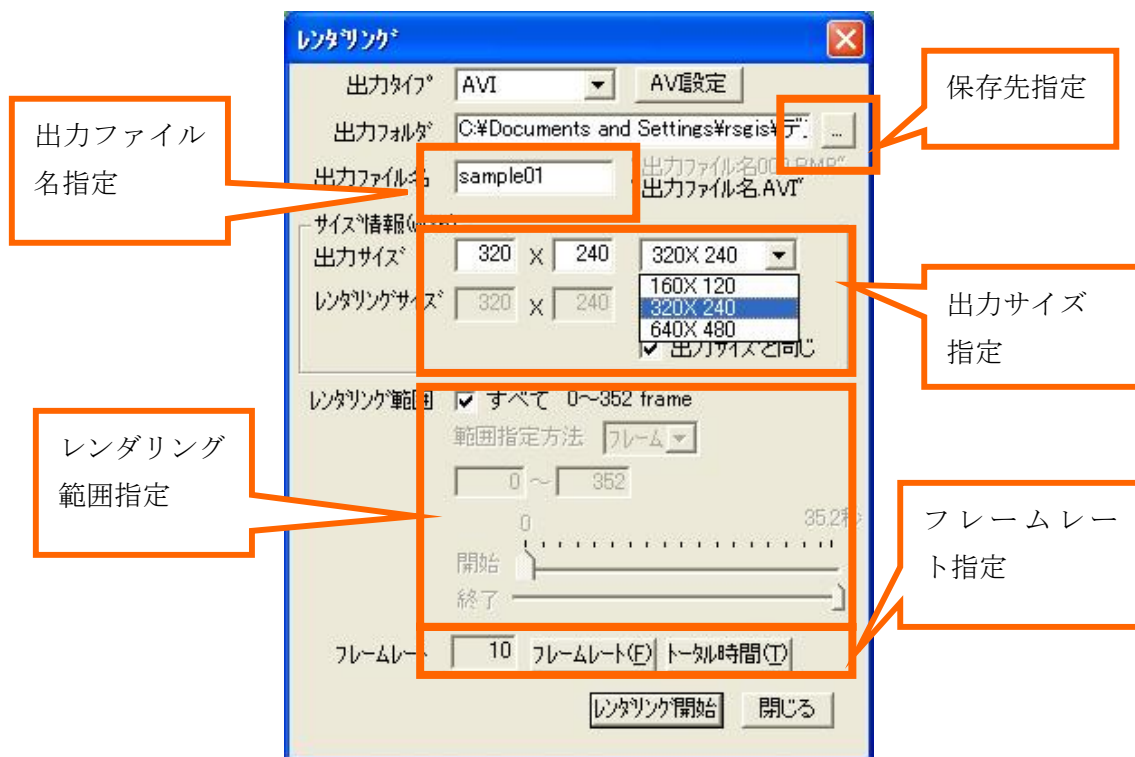
⑬ルート録画（動画作成）

注）出力する動画ファイルのサイズが大きい場合、レンダリング処理時間が非常にかかります。出力サイズ 320\*240、フレームレート 10、トータル時間 30秒以内を目安に作成願います。

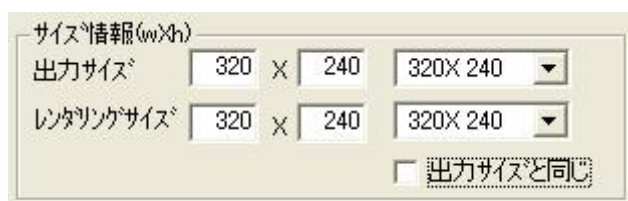




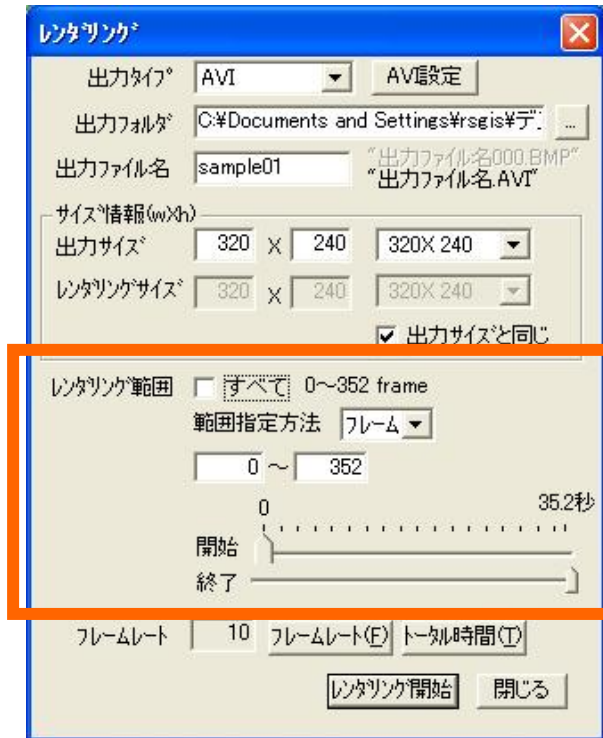
必要な方は、  
ビデオ圧縮方式設定



以降、各設定項目に関して、必要であれば設定する。  
出力サイズとレンダリングサイズを個別に指定する場合



レンダリング範囲を指定する場合



レンダリング範囲をすべてにする場合



フレームレートを指定する場合



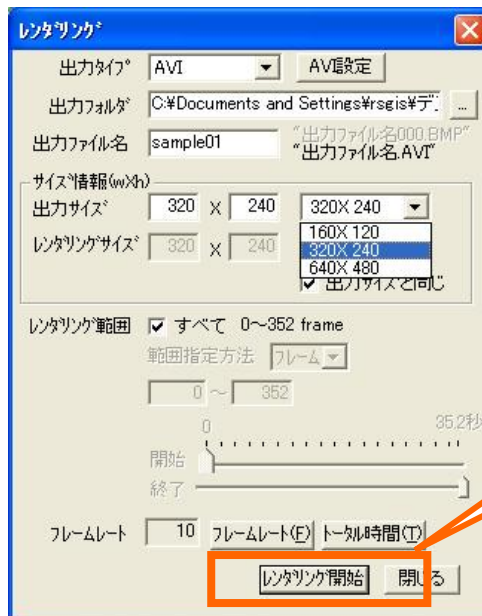
トータル時間指定しない場合



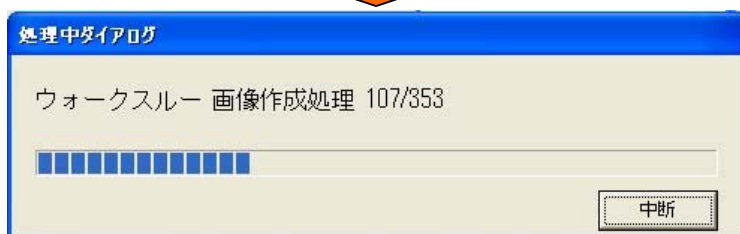
トータル時間指定する場合



上記、各種設定の後、「レンダリング開始」ボタンをクリック。

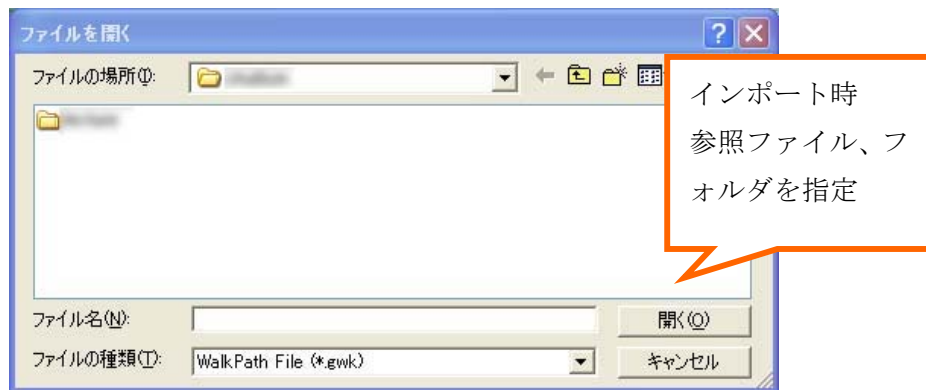
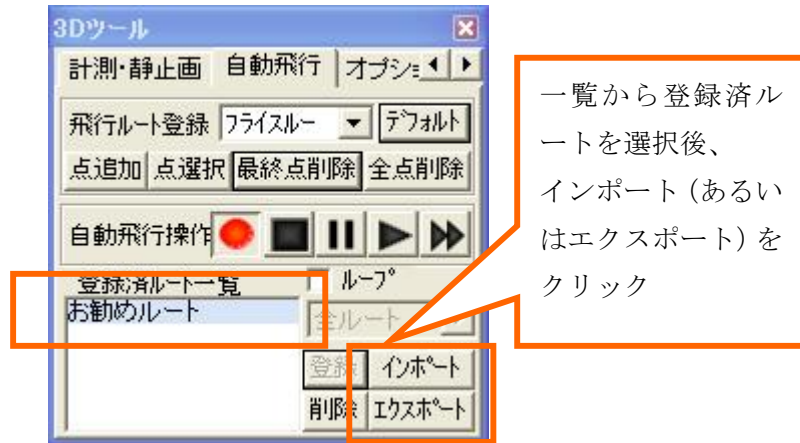


レンダリング  
開始



指定したフォルダに  
ファイル作成

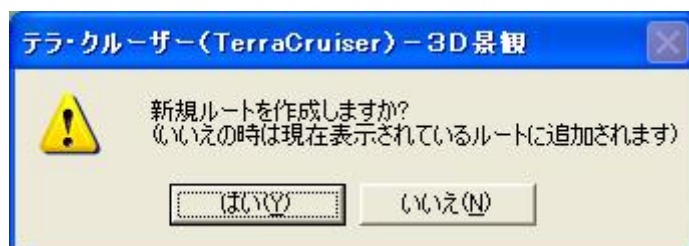
⑬ルートエクスポート、インポート



#### ⑭新規ルート作成

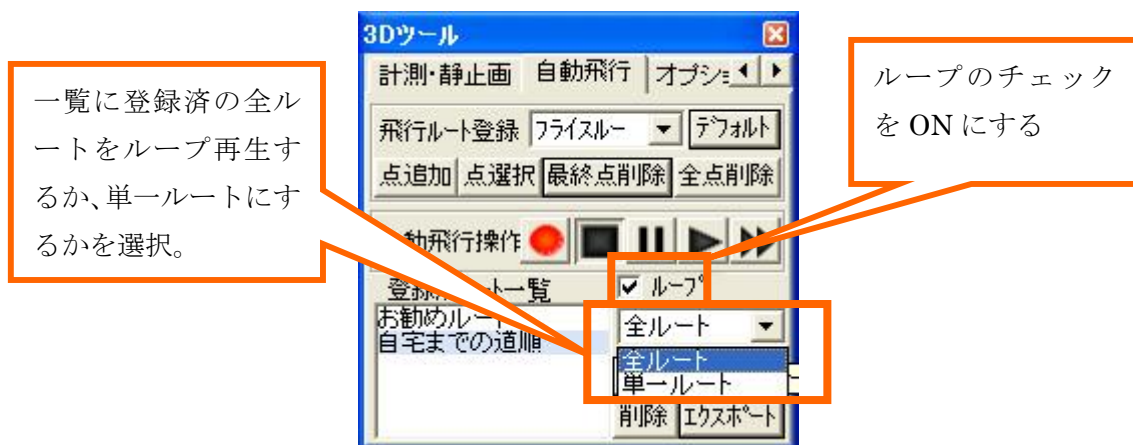
登録済一覧にて、既に登録済のルートを選択した状態で「点追加」ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

新規にルートを作成される方は「はい」を、既存ルートへの追加の場合は「いいえ」を選択願います。



#### ⑮ループ再生

登録済ルートをループ再生することができます。



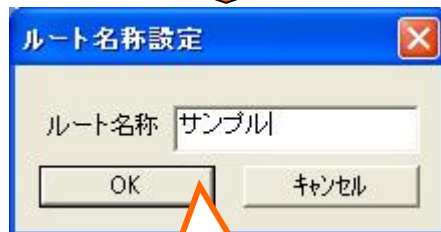
#### ⑯ルート削除

一覧から削除したいルートを選択後、「削除」ボタンクリックにより以下の確認ダイアログが表示されます。削除 OK なら「はい」をクリック願います。

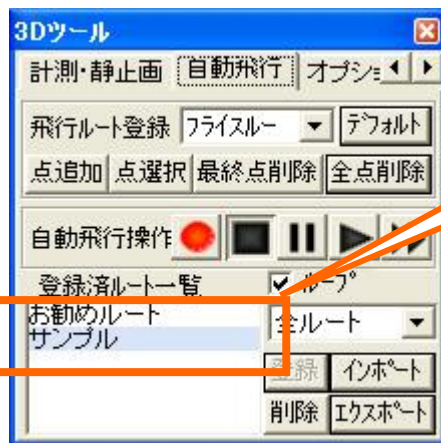


⑰編集ルート破棄

飛行ルート編集中に他のタブに移動すると、以下のダイアログが表示されます。  
「いいえ」を選択時、ルートは破棄されますのでご注意ください。



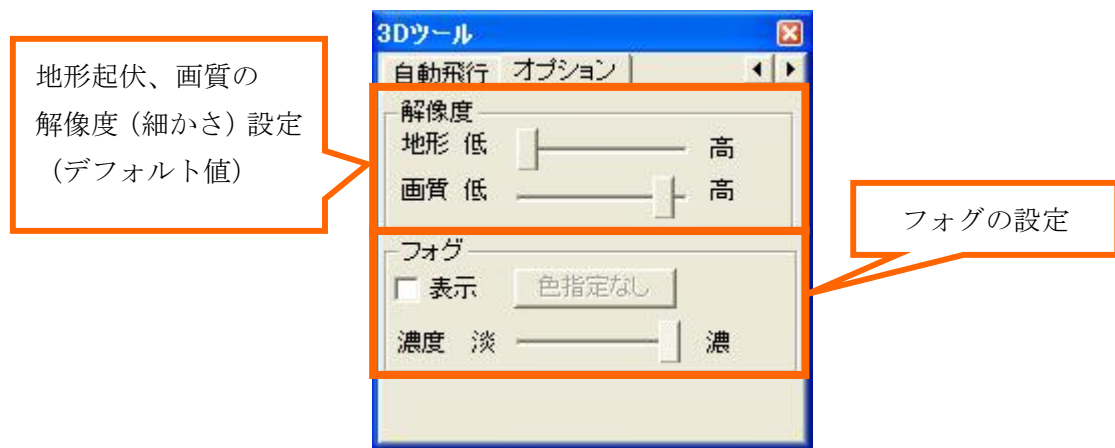
「はい」選択時、  
ルート名称を設定し  
OK をクリック



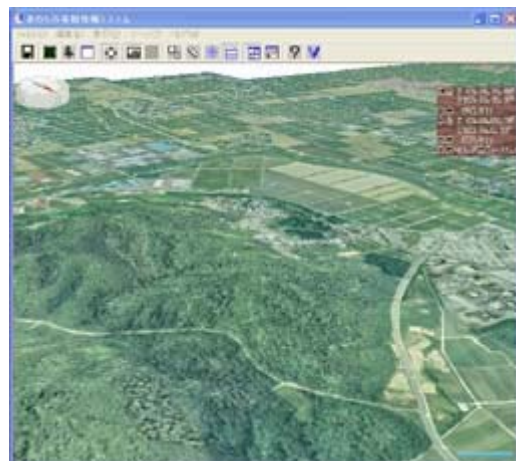
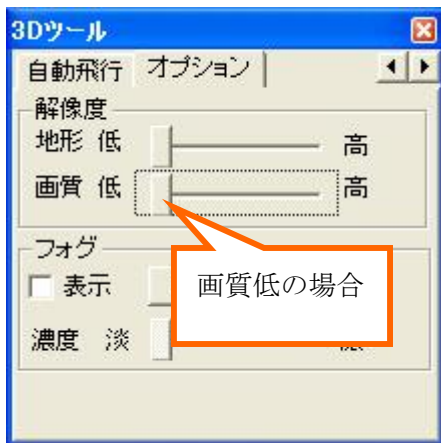
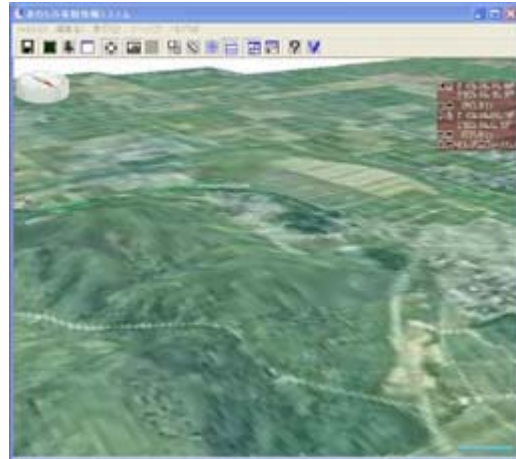
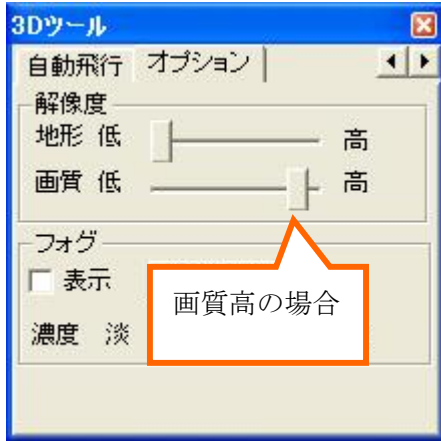
一覧に追加

#### 4.7 オプション

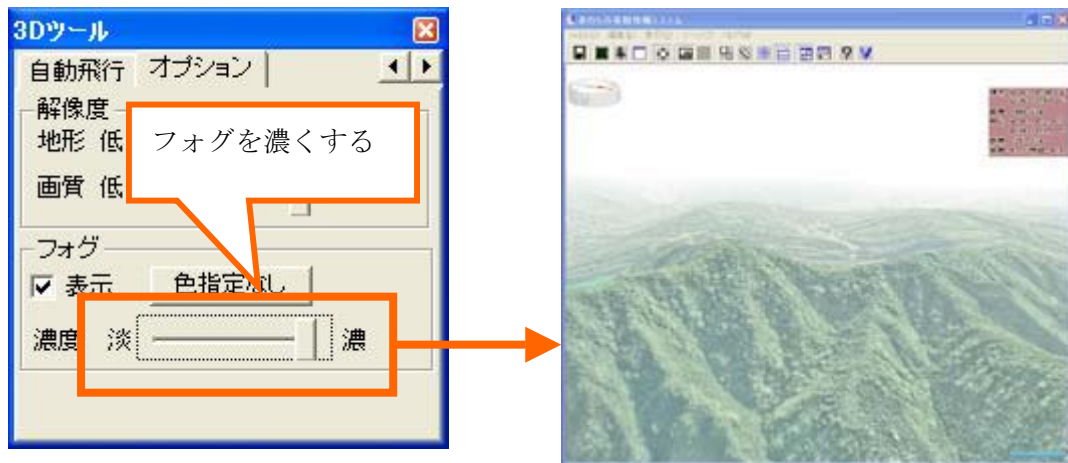
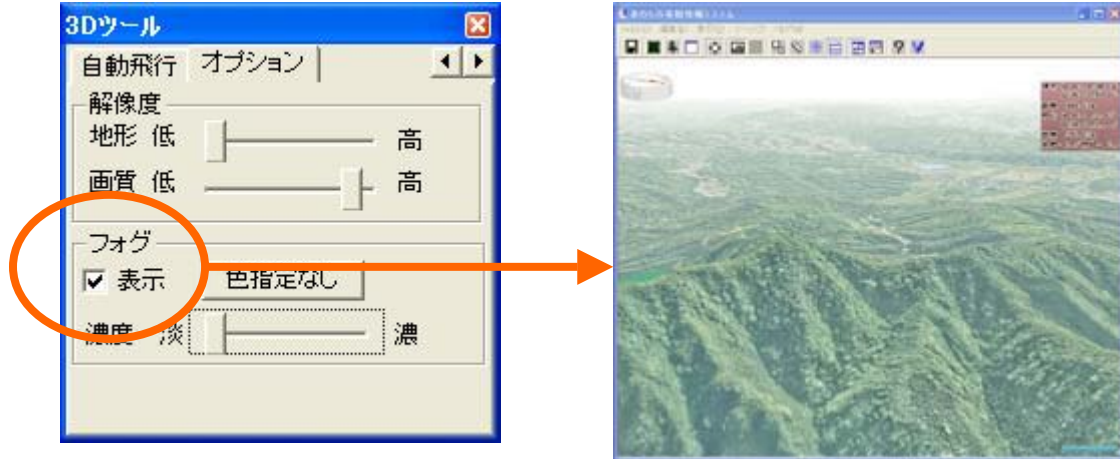
オプションタブでは、データ解像度及びフォグの設定ができます。  
ご利用の PC では動きが遅い場合、「画質」の解像度を下げて（左に移動）ご利用願います。それ以外の場合は、デフォルト値のままご使用ください。



①解像度



②フォグ（色指定無しの場合）



③フォグ（色指定有りの場合）

